

防水について

□日常生活用防水(3気圧・5気圧)は日常生活での汗や洗顔時の水滴、にわか雨などに耐えることのできる程度の防水機能です。水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。

□日常生活用強化防水(10気圧)は上記以上に耐水性があり、多少水に浸かっても問題有りませんが、水泳などに使用し水圧がかかると故障の原因になりますので、水の中に入れてしまうような環境での使用は避けてください。

□浸水の原因となりますので、ご使用する前にリューズがしっかり押し込まれていることを必ずご確認ください。

□水分のついたままリューズを回したり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入る場合がございます。

※誤った使用による水入りの修理に関しましては保証期間内でも有償になります。

保管について

□磁気(電化製品・P C・A V機器・携帯電話・磁気付き健康器具等)や、静電気の影響があるところに放置しないでください。磁気抜きは保証期間内でも有償となりますのでご注意ください。

□-5°C～35°Cからはずれた温度では機能が低下したり、停止する場合がございます。

□強い振動のあるところに放置しないでください。

□極端に埃の多いところに放置しないでください。

□温泉や防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。

□日当たりのよいところや強い光のあたる場所に長時間放置すると文字盤が変色する場合があります。文字盤の変色は保証対象外となりますのでご注意ください。

□薬品の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置しないでください。

その他の注意事項

【日頃のお手入れ】

□ケース・ベルトは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビで衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となることがありますので、常に清潔にしてご使用ください。

□時計を外した時は、柔らかい布等で汗や水分を拭き取るだけでケース、ベルト及びパッキンの寿命が違ってきます。

【風防(ガラス)について】

□ケースに強い衝撃を与えますと少しのケースの歪みで風防が割れる恐れがございますのでご注意ください。

【金属ベルト】

時々柔らかい歯ブラシ等を使い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に時計本体に水がかからないようにご注意ください。

【レザーベルト】

レザーベルトは全て天然革製品のため、「しわ」や「シボ」があるものがございます。

これらは天然製品ならではの独特な風合いで、傷とは異なりますのでご了承ください。

【IP(イオンプレーティング)】

ご使用状況や保管状況(過度の日光や紫外線、湿気の多い場所、薬品等の影響)により変色する恐れがありますのでご注意ください。

かぶれやアレルギーについて

□ベルトには多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。

□かぶれやすい体質の方は、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。

□かぶれの原因として考えられる事は、

○金属・皮革に対するアレルギー

○時計本体及びベルトに発生したサビ、汚れ、付着した汗等です。

□万一肌などに異常を生じた場合は、直ちに使用を中止し、医師にご相談ください。

その他、携帯上ご注意いただきたいこと

- ベルトの着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬ怪我を負う場合がありますのでご注意ください。
- 特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることで怪我を負ったり、アレルギーによるかぶれを起こしたりする場合もありますので十分にご注意ください。

電池についてのお願いとご注意

【最初の電池】

□お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能を見るためのモニター用です。お買い上げ後、短い期間で電池寿命が切れことがありますのでご了承ください。※モニター用電池は保証対象外です。

電池についてのお願いとご注意

【電池交換】

□電池交換はお買い上げ店にご用命ください。修理センター及び、直営店以外の店舗で行われた電池交換や修理による不具合や破損については保証の対象外になりますのでご注意ください。

□寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと漏液などで故障の原因になりますのでお早めに交換してください。

□動作の不具合は電池切れ以外の原因も考えられる為、電池交換のご依頼であっても、全て内部検査を行わせていただいております。内部検査後の修理作業と修理後の動作検査、防水検査等を行っておりますので修理進行のご依頼を受けましてから、通常約2週間の日数(年末年始・GW・夏季休業等の時期を除く)がかかる場合がございますのであらかじめご了承ください。

【警告】

- 時計から電池を取りださないでください。やむを得ずお客様が時計から電池を取りだした場合は、電池は直ちに乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため直ちに医師とご相談ください。
- 破裂、発熱、発火の恐れがありますので、電池を絶対に分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- この時計に使用している電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損の恐れがあります。絶対に充電しないでください。※ソーラーモデルに関しては文字盤を直射日光や蛍光灯の光などに当てることで充電が可能です。